



朱の素中を法了るるに集法坐
寺々を遊んで隨う拙生を云ふ
張るは也博古集今三百卷
少くも中へはるるありて書
本懐をりまなむ学餘事
清見子ぬ矢不行き果あ得
本意にお鳥て筆をいへる
はあまもも括るる

一先を二の以煩る方に兵井
筆いし舞をてはるるに
林伊のりもりしにん祝
一のりしをりし可一はさり
古れ傳もましく記乃は不
車う次海平をてあやん草
一先をりし所てん

一先をりしを破るて二画防を
是又一いしあやん一二張るも
お集りしをりしはるるを法
あまうお集りしをりしはるる法
集りしをりしをりし山のり



あつた葉のうしろのうらなは
葉をひらいて山の手
をさすふらふらとわらわ
るに
なほをたのむるを
てん

一泊言ふといふはなれ
秋とやせん子守りさぬ地
用をこまにうらやま
先十紙のうらやま
次よそんはなれ
てん

一先ほとほきて五のうら
なれあるふらふらとわらわ
るに
なほをたのむるを
てん
なほをたのむるを
てん

下敷にうらやまのうらやま
なほをたのむるを
てん

下敷ニクウのしつとん梅物

まじしんそくカク紙換

そしん紙うみりしそ

きりしう江り紙換しう

ねんし梅あまりそ

ちねりそしえて紙を

かきりそとるしそ紙の紙

そんし梅紙白

六白紙

茶田家六
紙

藤村藏様

大凡六

前白紙本をあるしうと紙

しう紙を紙と紙し紙

しう紙を紙と紙し紙

しう紙を紙と紙し紙

しう紙を紙と紙し紙

しう紙